

弁護士日記

あなたは勲何等か

美和勇夫

ノーベル文学賞作家の大江健三郎が、誰もノドから手が出るほど欲しい「文化勲章」をけつたということは誠に痛快な出来事であった。

大江健三郎は「天皇制を非民主主義の遺物であつて、第二次大戦を起した責任は天皇制にある」という考えを持つ人物であるから、そんなこと(考

え方)を言つておる反国家的人間に、もともと、日本政府が「勲章」などくれるはずはない。それが、ノーベル賞をもらったからという理由で、政府があわてて「文化勲章」をやろうといふことになつただけである。

大江氏は「民主主義に勝る権威と価値はない」から、現在の国家が「お

前は国のために尽したから勲章をやる」といわれ、でも、そんなところからはもらいたくないと言つておるわけである。

まあ、思いがけなく誰にもモデルとびきりの美人から声がかつても「あなたなどに誘われるスジアイにはない」と断れる男はほとんどないと同様「モデル男」の賞禄であろうか。

◇ ◇ ◇
ほとんどの人が、もらつて嬉しい勲章は「国家にたてつかず、国家のため尽したと評価される功績」によつて与えられ

るものだから、要するに時の権力者が自分の味方をふやすためにやつていふようなものである。一応、日本国民に萬遍

なく行き渡るように、地方自治体や各種関連団体などから推薦者の名簿が作られ(ここで推薦されなければ話にもならないが)各省庁がまとめて総理府に「推薦リスト」を出す。

受章者のワケは、各省庁に前もつて割り当てられてゐるから、警察、消防、教育、裁判、社会福祉、企業、政治等々……の各分野から人数分の推

薦者が作られる。

「叙勲制度」は「政財」「官」の癒着を強める働きをしているから、この三つを結ぶ三角形のワケの中に入る人物と認定されなければ、世間でいくら立派な人と評価されようと勲章は来ない。

◇ ◇ ◇
勲章も年に二回のお祭り、で、賑やかしの為には大勢の人がオール均一にも

受章者のワケは、各省庁に前もつて割り当てられてゐるから、警察、消防、教育、裁判、社会福祉、企業、政治等々……の各分野から人数分の推

かしなことだ。

国が勲章をくれることは結構なことだが、どうして勲一等とか、勲八等などというランク(差別)をつけるのか。

これまで最高ランクの大勲位菊花大綬章をもらったのは政治家の吉田茂、佐藤栄作両氏のみである。勲章を一番欲しがるのは政治家であるが、政治家が国家公共の為に、税金から歳費をもらつて活動するのは当然の義務を果しただけではないのか。

ついでに言うならば、我々だつて「税金を払う」などにながしかは国家の

為に尽しているのだから勲章にすると今のところ

「勲五十等」くらいになるのか「勲百等」くらいになるのか教えてもらいたいものだ。

一番いかんのはマスコミである。マスコミが勲章の報道をしてあおらなければ、誰も勲章そのものにそう騒ぎはしないし価値も出て来ない。「ダイヤモンド」や「オリンピックの金メダル」なら転売しても買う人があろうが、世の中どこに人のもつた「勲章」などゼニを出して買う人がおろうや。